



桜が咲き誇る里山になるよう願いを込める参加者＝上山会場

## 「恋人の聖地」も彩る



上山会場は、標高約300mの葉山花咲山の中腹地点。植栽地脇には地元関係者が整備した展望台「恋人の聖地」があり、市街地や山並みを一望できる観光名所として知られる。約30人が参加しシタレザクラ11本を植栽した。

植樹式では横戸長兵衛市長が「桜は日本人の心に響く花。市内を見渡せる場所

です。早くも成長し、思い出深い桜になるよう期待したい」とあいさつし、提唱者を代表し柴田俊夫山形放送取締役メディアコンテンツ開発局長が「美しく花を咲かせる春を心から待ち望みたい」と述べた。大場重弥市議会議長の来賓祝辞に続き、植樹者を代表し旅館業佐藤博子さん(61)＝上市市葉山＝にネームプレートが贈られた。

朝から降り続いていた雨は式の開始前にやみ、参加者はそれぞれの思いを託すようにスコップで苗木周辺に土を掛け、ネームプレートも取り付けた。公務員山口洋さん(33)＝山形市松見町＝は結婚記念桜として植樹し、妻の育子さん(36)は「ここは結婚する前に一度来た。見晴らしが良く、日当たりのいい場所に植えられて良かった」と思い出に浸りながら作業を進めていた。

